

しゃめん  
1面のコラム「斜面」を読もう

斜面

2022.2.26

ケニアは日本人にも人気の観光スポットが多い。赤道ほぼ直下の首都ナイロビは標高1700mで気候は清涼と

いう。一度は訪ねてみたい国である。その歴史には他のアフリカ諸国と同様、大国の支配を受け続けた苦難が刻まれている◆ケニアが位置する東アフリカの支配はアラブ人、ポルトガル人、イスラムと変遷した。帝国主義が勢いを増した19世紀には欧州列強によって分割され、ケニアの地は英国の保護領になった。第2次大戦中に始まった独立運動が実ったのは21年後のことだ◆ウクライナ2地域の独立を承認したロシアの行動を、ケニアのキマニョ大使が安保理で批判した。もし私たちが独立時に民族など同質性に基づく国家を追求したなら長い戦争が続いた。危険な懐旧の念で過去にこだわるのではなく、政治や経済、法的な統合を目指したのだ、と◆こう締めくくった。「同胞と一緒にいたいと思わない人はいない。しかしその願望を力づくで追求することをケニアは拒む。新たな支配や抑圧に突き落とされず、帝国の残り火から回復を遂げなければならぬ」。支配された側の異議申し立てである◆ケニアなどのアフリカ東端地域は今、深刻な干ばつに見舞われている。先日、世界食糧計画は1300万人以上が飢えの脅威に直面していると発表した。国境を超え資源の争奪戦が起きている。地球温暖化に人類が協力して立ち向かうべき時なのに、帝国の残り火を燃やし続ける愚かさよ。

斜面

2022.2.27

かつて「ながら族」という言葉がはやった。何かをしながら別のことをする人のこと。筆者も学生時代、勉強し

ながら深夜ラジオに耳を傾けた典型的な「ながら族」である。意識はいや応なく楽しい方へ。試験の出来は推して知るべし◆東北大のグループが興味深い研究結果を発表した。ヘッドホンの右側から無意味な雑音が聞こえる時より、音楽を流している時の方が、左側から聞こえるテスト音への反応が鈍かった。音楽を聴きながらの作業は効率下がっている可能性があるという◆経験から得心した。とはいえ今は「ながら族」という言葉が廃れるほど、それが当たり前である。音楽を聴きながら仕事をし、運動もする。心を外界から離して集中したいゆえか。若い世代になると、テレビを眺めつつスマホで動画サイトを見たり、ゲームをしたり、SNSまで◆加齢のせいで脳の情報処理に衰えを感じている身としては、下の世代の「ながら」ぶりに驚き、羨望すら覚えてしまう。かつて上の世代に言われたように、臆面もなく諭してみようか。「もっと一つのことに集中した方がいいぞ」。説得力がまるでない◆筆をとれば自然とものを書き、楽器を持てば音を鳴らしたくなる。心の働きは必ず何かに触れることで生じると、兼好法師は徒然草に書いた。生まれながらに魅力的なモノに囲まれた世代は寸暇を惜しんで心を傾ける。器用貧乏が増えるだけか。あるいは新しいマルチな能力が開くか。

しゃめん  
1面のコラム「斜面」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

斜面

2022. 2. 26

ケニアはにほんじんにもにんきのかんこうスポーツがおおい。せきどうほぼちよっかのしゅとナイロビはひょうこう1700坪できこうはせいりょうという。いちどはたずねてみたいくにある。そのれきしにはほかのアフリカしょくどうよう、たいこくのしはいをうけつづけたくなんがきざまれている◆ケニアがいちするひがシアフリカのしはいはアラブじん、ポルトガルじん、イスラムとへんせんした。ていこくしゅぎがいきおいをました19せいきには欧州れっきょうによってぶんかつされ、ケニアのちは英国のほごりょうになった。だい2じたいせんちゅうにはじまったどくりつうんどうがみのったのは21ねんごのことだ◆ウクライナ2ちいきのどくりつをしようにんしたロシアのこうどうを、ケニアのキマニこくれんたいしがあんぼりでひはんした。もしわしたたちがどくりつじにみんぞくなどどうしつせいにもとづくこっかをついきゅ

うしたならながいせんそうがつづいた。きけんないきゅうのねんでかこにこだわるのではなく、せいじやけいぎい、ほうてきなとうごうをめざしたのだ、と◆こうしめくくった。「どうほうといっしょになりたいとおもわないひとはいない。しかしそのがんぼうをちからずくでついきゅうすることをケニアはこぼむ。あらたなしはいやくあつにつきおとされず、ていこくのこりびからかいふくをとげなければならぬ」。しはいされたがわのいぎもうしたてである◆ケニアなどのアフリカとうたんちいきはいま、しんこくなかんばつにみまわれている。せんじつ、せかいしよくりょうけいかくは1300まんにんいじょうがうえのきょういにちよくめんしているとはっぴょうした。こっきょうをこえしげんのそうだつせんがおきている。ちきゅうおんだんかにじんるいきょうりよくしてたちむかうべきときなのに、ていこくのこりびをもやしつづけるおろかさよ。





## 1面のコラム「斜面」を読もう

### 斜面

2022.2.26

ケニアは日本人にも人気の観光スポットが多い。赤道ほぼ直下の首都ナイロビは標高1700mで気候は清涼と

いう。一度は訪ねてみたい国である。その歴史には他のアフリカ諸国と同様、大国の支配を受け続けた苦難が刻まれている◆ケニアが位置する東アフリカの支配はアラブ人、ポルトガル人、イスラムと変遷した。帝国主義が勢いを増した19世紀には欧州列強によって分割され、ケニアの地は英国の保護領になった。第2次大戦中に始まった独立運動が実ったのは21年後のことだ◆ウクライナ2地域の独立を承認したロシアの行動を、ケニアのキマニョ大使が安保理で批判した。もし私たちが独立時に民族など同質性に基づく国家を追求したなら長い戦争が続いた。危険な懐旧の念で過去にこだわるのではなく、政治や経済、法的な統合を目指したのだ、と◆こう締めくくった。「同胞と一緒にいたいと思わない人はいない。しかしその願望を力づくで追求することをケニアは拒む。新たな支配や抑圧に突き落とされず、帝国の残り火から回復を遂げなければならぬ」。支配された側の異議申し立てである◆ケニアなどのアフリカ東端地域は今、深刻な干ばつに見舞われている。先日、世界食糧計画は1300万人以上が飢えの脅威に直面していると発表した。国境を超え資源の争奪戦が起きている。地球温暖化に人類が協力して立ち向かうべき時なのに、帝国の残り火を燃やし続ける愚かさよ。

### 斜面

2022.2.27

かつて「ながら族」という言葉がはやった。何かをしながら別のことをする人のこと。筆者も学生時代、勉強し

ながら深夜ラジオに耳を傾けた典型的な「ながら族」である。意識はいや応なく楽しい方へ。試験の出来は推して知るべし◆東北大のグループが興味深い研究結果を発表した。ヘッドホンの右側から無意味な雑音が聞こえる時より、音楽を流している時の方が、左側から聞こえるテスト音への反応が鈍かった。音楽を聴きながらの作業は効率下がっている可能性があるという◆経験から得心した。とはいえ今は「ながら族」という言葉が廃れるほど、それが当たり前である。音楽を聴きながら仕事をし、運動もする。心を外界から離して集中したいゆえか。若い世代になると、テレビを眺めつつスマホで動画サイトを見たり、ゲームをしたり、SNSまで◆加齢のせいで脳の情報処理に衰えを感じている身としては、下の世代の「ながら」ぶりに驚き、羨望すら覚えてしまう。かつて上の世代に言われたように、臆面もなく諭してみようか。「もっと一つのこと集中した方がいいぞ」。説得力がまるでない◆筆をとれば自然とものを書き、楽器を持てば音を鳴らしたくなる。心の働きは必ず何かに触れることで生じると、兼好法師は徒然草に書いた。生まれながらに魅力的なモノに囲まれた世代は寸暇を惜しんで心を傾ける。器用貧乏が増えるだけか。あるいは新しいマルチな能力が開くか。

## 1面のコラム「斜面」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

### 斜面

2022. 2. 26

ケニアはにほんじんにもにんきのかんこうスポーツがおおい。せきどうほぼちよっかのしゅとナイロビはひょうこう1700坪できこうはせいりょうという。いちどはたずねてみたいくにである。そのれきしにはほかのアフリカしょこくとどうよう、たいこくのしはいをうけつづけたくなんがきざまれている◆ケニアがいちするひがシアフリカのしはいはアラブじん、ポルトガルじん、イスラムとへんせんした。ていこくしゅぎがいきおいをました19せいきには欧州れっきょうによってぶんかつされ、ケニアのちは英国のほごりょうになった。だい2じたいせんちゅうにはじまったどくりつうんどうがみのったのは21ねんごのことだ◆ウクライナ2ちいきのどくりつをしようにんしたロシアのこうどうを、ケニアのキマニこくれんたいしがあんぽりでひはんした。もしわしたたちがどくりつじにみんぞくなどどうしつせいにもとづくこっかをついきゅ

うしたならながいせんそうがつづいた。きけんないきゅうのねんでかこにこだわるのではなく、せいじやけいざい、ほうてきなとうごうをめざしたのだ、と◆こうしめくくった。「どうほうといっしょになりたいとおもわないひとはいない。しかしそのがんぼうをちからずくでついきゅうすることをケニアはこばむ。あらたなしはいやくあつにつきおとされず、ていこくのこりびからかいふくをとげなければならぬ」。しはいされたがわのいぎもうしたてである◆ケニアなどのアフリカとうたんちいきはいま、しんこくなかんばつにみまわれている。せんじつ、せかいしょくりょうけいかくは1300まんにんいじょうがうえのきょういにちよくめんしているとはっぴょうした。こっきょうをこえしげんのそうだつせんがおきている。ちきゅうおんだんかにじんるいきょうりよくしてたちおかうべきときなのに、ていこくのこりびをもやしつづけるおろかさよ。

### コラム「斜面」を読んで考えを深めよう

## 斜面

2022.2.27

かつて「ながら族」という言葉がはやった。何かをしながら別のことをする人のこと。筆者も学生時代、勉強し

ながら深夜ラジオに耳を傾けた典型的な「ながら族」である。意識はいや応なく楽しい方へ。試験の出来は推して知るべし◆東北大学のグループが興味深い研究結果を発表した。ヘッドホンの右側から無意味な雑音が聞こえる時より、音楽を流している時の方が、左側から聞こえるテスト音への反応が鈍かった。音楽を聴きながらの作業は効率下がっている可能性があるという◆経験から得心した。とはいえ今は「ながら族」という言葉が廃れるほど、それが当たり前である。音楽を聴きながら仕事をし、運動もする。心を外界から離して集中したいゆえか。若い世代になると、テレビを眺めつつスマホで動画サイトを見たり、ゲームをしたり、SNSまで◆加齢のせいで脳の情報処理に衰えを感じている身としては、下の世代の「ながら」ぶりに驚き、羨望すら覚えてしまう。かつて上の世代に言われたように、臆面もなく諭してみようか。「もっと一つのこと集中した方がいいぞ」。説得力がまるでない◆筆をとれば自然とものを書き、楽器を持てば音を鳴らしたくなる。心の働きは必ず何かに触れることで生じると、兼好法師は徒然草に書いた。生まれながらに魅力的なモノに囲まれた世代は寸暇を惜しんで心を傾ける。器用貧乏が増えるだけか。あるいは新しいマルチな能力が開くか。

① コラム「斜面」を読んで、筆者が言いたいことを簡潔に書きましよう。

② 【意見提示】 「斜面」の内容に対するあなたの意見を書きましよう。

③ 【展開】 あなたの意見の根拠を三つ書きましよう。

( )

( )

( )

伝えたい順番